



こども園のアジサイが綺麗に咲き、梅雨の気配が感じられる頃となりました。子どもたちは、季節の製作をしながら梅雨の時期の自然に親しんだり、じめじめとした暑さの中、水を使って砂遊びや泥粘土遊びをして心地よさを感じたりしています。そこで、最近の遊びの様子をご紹介します。

雨の製作

「今日もすごい雨だね」「朝なのに空が暗いね」と、空の様子に目を向けながら梅雨の訪れを感じている様子の子どもたちと、画用紙と折り紙で雨を作りました。「チョキチョキチョキ…」と細長く切った画用紙をセロハンテープでつなげていくと、ザーザーと降る雨になりました。折り紙を折って作った雨粒に顔を描くと、かわいらしい「雨粒ぼうや」のできあがりです。保育室や廊下に飾ると、「お部屋の中にも雨が降ってきたね!」「今日の天気と同じだね!」と嬉しそうな子どもたち。生活の中で季節の変化を感じたことが、この製作遊びへの興味となりました。そして、繰り返し楽しむことで、ハサミを扱ったり紙を折ったりする技能面での育ちにもつながっています。



お部屋にも雨が
いっぱい!
つなげて
チョキチョキ...



水を使った砂遊び・泥粘土遊び

天気の良い日には、裸足になり、砂場で水を使って遊ぶこともあります。掘った穴に水を入れると水が砂の中に染み込んでなくなることを不思議に思ったり、水と砂を手で混ぜて感触を楽しんだり、手や足で水や砂に触れて心地よさを感じたりする姿が見られます。泥粘土遊びでは、水の量の違いから、「むにむに」「ねちょねちょ」などとそれぞれの感じ方を言葉でも表しながら感触を楽しんだり、泥粘土を丸めて団子やおにぎりなどを作ったり、足で踏む感触を楽しんだりしています。開放感を感じながら、様々な感触の面白さや、冷たさや力加減などの感覚を存分に味わえるようにしたいと思います。



手でこねたり
足で踏んだり



水を入れてもすぐに
なくなるぞ!?

生活習慣のポイント ～着替え～

汗をかいたり水遊びをしたりし、着替えをする機会が多くなる季節です。濡れたり汚れたりしたときには「気持ちが悪いな」と、子どもなりに必要感をもって着替えられるようにしていきたいと思えます。まずは自分で脱ぐ、自分で着る、脱いだ服は畳むということに加え、園では脱いだらすぐに新しい服を着る(脱ぐ前に着替えを準備しておく)ということも指導をしています。これは、必要以上に自分の体を人に見られないようにすること、自分の体を大切にすることとも年齢に応じて知らせていきたいと考えているためです。また、園では立って着替えることにも挑戦しています。ご家庭でも、着替えるときのお子さんの様子を見て声を掛けてあげてください。

【お願い】

プール期間中(6/22~9/6)は、汗をかく量も多いため、毎日着替えの用意をお願いします。下着、ズボン、Tシャツ、靴下を袋に入れて、リュックの中に入れてください。子どもたちが自分で出し入れをし、水遊び後に新しい服に着替えます。着替えを入れてきた袋に脱いだ服を入れて持ち帰ります。

もうすぐ七夕です

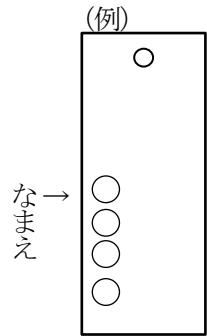
7月7日は、七夕です。園でも、子どもたちと一緒にいろいろな七夕飾りや願い事を書く短冊を作って、大きな笹にみんなで飾りたいと思います。

6月24日(金)に短冊を、一人2枚持ち帰ります。

1枚はお子さんの願い事を、もう1枚にはご家族みなさんの願い事をひらがなで書き、6月27日(月)までに園にお持ちください。

どんな願い事にするか、お子さんとぜひ話をしてみてください。

(七夕の願い事は、ほしい物ではなく、将来の夢や目標などを書けるとよいですね)



ほし組保育室、にじ組保育室前の廊下に各学級の笹を飾ります。
7月4日(月)の降園時に親子で短冊を飾ってください。

夏に気を付けたい病気

プール熱 (咽頭結膜熱)

プールに入れる条件・注意点
主要症状が消えてから、2日を経過するまでは出席停止。



対処法

- タオルの共用は避け、感染者の使ったタオルなどは、熱湯消毒した後洗濯する。
- 水分補給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与える。

ヘルパンギーナ

プールに入れる条件・注意点
熱がなく、ぶつづくに食事ができ、元気があればプールはOK。



対処法

- のどの痛みが強いため、熱い物や冷たすぎる物、酸味のある物や塩味のきつい物など刺激の強い物は避ける。
- 痛みが激しいときは、かますに飲み込める食べ物にする。
- しっかりと水分補給をする。

はやり目 (流行性角結膜炎)

プールに入れる条件・注意点
結膜炎の症状が消失し、医師が周囲への感染がなくなったと判断するまでは出席停止。



対処法

- 目を触らせないように注意し、せっけんでしっかり手を洗わせる。
- 目に触れる物の共用は避け、感染者が触った物は、せっけんで洗ったり、消毒したりする。

手足口病

プールに入れる条件・注意点
熱がなく、ぶつづくに食事ができ、元気があればプールはOK。



対処法

- 薄味で口当たりのよい食べ物を与える。
- 食後はぬるめのお茶を飲ませて、口の中をきれいにする。
- しっかりと水分補給をする。

とびひ (伝染性膿痂疹)

主な症状

- * 湿疹や虫刺されのあとをかくことで、米粒大の透明な水疱ができ、しだいにうみを持って、かゆくなる。
- * 水疱の膜が破れると、中の菌を含んだ液が飛び散り広がる。

対処法

- かかさぶたができていて、皮膚が乾燥しているか、汁が出ている部分をガーゼなどで覆うことができれば、登園可能。
- つめは短く切る。
- 感染者とタオルなどの共用はやめる。
- かかさぶたができるまでプールには入れない。
- 水遊びの後は、シャワー洗浄や抗生剤塗布の配慮が必要。

水いぼ (伝染性軟属腫)

主な症状

- * 1~2mm程度のプツプツができる(真ん中にへこみがあり、硬くてつやがあり、皮膚と同色)。しばらくすると3~4mmになる。
- * 痛みはないがかゆみを伴うこともある。
- * わきの下、わき腹、足のつけ根など、皮膚と皮膚がこすれ合うところによくでき、体中に広がる。

対処法

- ほうっておくと体中に広がるので、ひとつでも水いぼを見つけたら、医師の診断を受ける。
- プールでの感染はないが、つぶれてしまっているときは、プールは避ける。
- タオルやビート板などを介しての感染があるので、共用は避け、プールの後は体をよく洗い流す。

夏に流行しやすい主な感染症についてまとめました。プールを介して感染する病気もあります。登園にはお医者さんの許可が必要です。

おたんじょうびおめでとう

